

## 平成29年度 高2修学旅行（シンガポール）

6月20日（火）朝、集合状況もよく全員でシンガポールに向けて出発して約6時間、旅の疲れも見せずチャンギ国際空港に降り立ちました。入国手続き、荷物の受け取りを終えて空港施設の外に出ると、さっそく「暑い」という声が聞こえてきましたが、今年の修学旅行はこの暑さに関してはたいへん恵まれたものでした。

翌21日（水）午前は国立シンガポール大学、JTB現地法人、水再処理施設の3ヵ所に分かれてのコース別学習、午後はB&Sプログラムという現地学生の案内で市内を見学する行程でした。半日間の市内見学を終えてホテルに戻った際には、どの班も名残惜しそうにB&Sスタッフの大学生と写真を撮ったり、英語で話したりしていました。帰国後も、最も印象深かったこととしてこのB&Sプログラムを挙げた生徒が多くいました。

翌22日（木）の学校交流ではシンガポール・マレーシア間のバスによる出入国も経験し、SMK Pasir Gudang でバディをしてくれた生徒さんたちとも親交を深めることができました。実行委員を中心に、慣れない英語での交流会の進行やスピーチなども経験することができました。この2日間は英語でやり取りする機会も多く、生徒たちにとっては「伝えようという気持ちがあれば、英語でもどうにか伝えられる。」という自信にもなりました。

最終日23日（金）はセントーサ島班別研修とマリーナ・ベイ・サンズから見る夜景を楽しんだ後、チャンギ国際空港から夜行便に乗り、全員で無事元気に帰国できました。

英語でのコミュニケーションだけでなく、さまざまな異文化体験や陸続きで国境を超える経験もでき、生徒にとってはたいへん思い出深い修学旅行となりました。

